

## 会 議 録

会議の名称	令和４年度 飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク 第１回全体会議
開催日時	令和４年７月２２日（金）１５時から１７時３０分まで
開催場所	飯塚市役所本庁 ２階多目的ホール
出席委員	大内田委員、苅谷委員、神崎委員、島津委員、田才委員、田中委員、辻田委員、畑委員、藤井委員、淵上委員、丸野委員、本松委員、山口委員、渡辺委員、森山委員、石坂委員、川野委員
欠席委員	山梨委員
事務局職員	山野・松浦（飯塚市社会・障がい者福祉課）、仲島（嘉麻市社会福祉課）、伊藤（桂川町健康福祉課）、藤嶋、石本、寺敷、小出、森田、早田、藤、富田、毛利、前田（飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センター）  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">部会長</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども部会 大矢氏（飯塚病院小児科医師）</li> <li>・相談支援部会 神崎氏（障がい者相談支援センターさんあいサポート相談支援専門員）</li> <li>・暮らし部会 松藤氏（たていわ病院 PSW）</li> </ul>
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定刻に至り会の成立を認め、桂川町健康福祉課長よりあいさつ</li> <li>・会長と副会長の互選を行い、会長に丸野委員、副会長に田中委員が選任</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">議 題（１） 自立支援ネットワークの活動報告</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門部会（相談支援部会）</li> <li>② 専門部会（暮らし部会）</li> <li>③ 専門部会（こども部会）</li> <li>④ 就労支援分野の活動報告と部会化について</li> </ul> <p>以上について、資料１を基にそれぞれの担当者より活動報告がなされ、就労部会設置について委員のみなさんより承認を得る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">議 題（２） 基幹相談支援センター等運営事業の報告</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 基幹相談支援センター</li> <li>② 相談支援機能強化事業</li> </ul> <p>それぞれの担当者から資料２を基に令和３年度の事業報告と令和４年度の計画について説明がなされる。</p> <p><b>【委員】</b>機能強化事業トントンについての質問。就学に関する相談、支援内</p>

容、教育委員会に対する情報提供について、具体的に学校へどのように情報提供を行っているか教えてもらいたい。

【担当者】診察や発達検査等の結果を持って、顔つなぎも含めて学校へ訪問し、伝えている。

【委員】長期入院患者の方について、支援が必要だと言われてきたが、精神科病院に20年間入院していた患者さんが退院した。ずっと医療保護入院だった方が、任意入院に切り替わり実家に退院となった。実家に住む母親は認知症で、そんな所に退院となっている現状がある。家族会としては憤りを感じており、そのような事がない様にしてもらいたい。

【担当者】基幹センターとして、長期入院患者さんに対するアプローチが今まで無く、病院から依頼があれば動くというような感じだった。面談を繰り返しながら基幹センターで支えていきたいと思っている。このケースでは、本人が「一生病院から出られんかと思よかった」と涙を流していたと聞いた。今後、滞りなく退院支援ができるように対応したいと思っている。

### 議 題 (3) 地域生活支援拠点等整備事業・

#### 日中サービス支援型共同生活援助の活動報告

- ① 地域生活支援拠点等の整備について
  - ② 日中サービス支援型共同生活援助の活動報告
  - ③ 日中サービス支援型共同生活援助の活動報告
    - ・障がい福祉サービス事業所ホームファイトⅡ（社会福祉法人ひなの家）
    - ・Hilltop Garden 雅（社会福祉法人嘉穂の里）
    - ・グループホームあさひの里（社会福祉法人天満会）
- それぞれの担当者より活動報告がなされる。

### 意見交換

【委員】就労部会設置について、各月開催と説明があったが、ハローワークの参加については、窓口対応がある為難しい。雇用指導官と障がい担当と一緒に動くようになっている。田川の基幹センターが開催している就労部会には、商工会議所が参加しており、そちらの方がいいのではないか。

【事務局】就労部会の参加者については、事務局の方でも検討したいと思っている。

【委員】今、問題になっているのは、施設責任者と教師が保護者から100万円を受け取り、引き出し屋をやって事件になっている。家族会の中でも起ころうとしていて、業者にお金を出して病院に連れて行こうとしている母親

	<p>から相談があっていた。警備会社も「うちは 30 万でやりますから」とビラを持ち込まれたこともある。家族内で暴力が発生するのは、家族としてはどうしようもない。基幹センターにもなんとかしてほしいと相談が入っていると思う。家族会では、そのような相談が入っても暴力になる可能性もある為、受けられない。どこの機関も受けないので、そんな業者もあるだろう。</p> <p><b>【事務局】</b>平成 18 年から相談支援事業が始まったが、それ以前から同様の相談は入っていた。保健所や市町村等から病院受診の必要性について総合的に判断してもらった場合、家族の同意を得て、病院へ搬送するケースはあったが、稀である。22 条も難しいのが現状。認知症初期集中対応チームのようなものがあればいいと思うし、なんとかしないといけないという思いもある。人権的な問題もあり、なんとか本人へ説得するという方法で関わりを続けていくことを考えている。</p> <p><b>【委員】</b>暴力行為となると警察の介入が必要となるのではないか。</p> <p><b>【委員】</b>このようなケースは、たくさん相談を受ける。何もしてもらえないのか？と言われることもある。事前に約束して訪問したりする時もあるが、家の中に入って身の危険を感じたこともあったので、できれば避けた方がいいのかなと思っている。22 条も非常に難しい。今後も相談にのっていききたい。</p> <p><b>【委員】</b>障がい者雇用率について、例えば 5 人なら 5 人分の障がい者雇用を企業から事業所側が請け負うようなことが全国的に流行っている。この圏域では起こっていないのか。</p> <p><b>【委員】</b>大牟田や久留米にある農園で、お金を払うような障がい者ビジネスを行っており、担当のハローワーク職員が現地へ確認に行っていると聞いている。有期雇用しており、5 年先にどうなるか報告を受けるようになっていく。この圏域では、ハローワークとしては掴んでいない状況。</p>
	<p>資料 1-1 「専門部会（相談支援部会）活動報告書」</p> <p>資料 1-2 「専門部会（くらし部会）活動報告書」</p> <p>資料 1-3 「専門部会（こども部会）活動報告」</p> <p>資料 1-4 「就労支援分野活動報告」</p> <p>資料 1-4 「飯塚圏域就労系福祉サービス事業所の全体的な取り組み」</p> <p>資料 1-4 「就労部会設置に向けた準備会（コアメンバー会議）」</p> <p>資料 2-1 「飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センター等運営事業 令和 3 年度報告・令和 4 年度計画」</p> <p>資料 2-2 「こども発達療育センターテコテコ相談部門トントン・発達障がい児等相談支援機能強化事業」</p> <p>資料 3-1 「地域生活支援拠点等の整備とは」</p>

	資料 3-2 「地域生活支援拠点等整備事業について」 資料 3-3 「日中サービス支援型共同生活援助について」
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 1 公開    2 一部公開    3 非公開 (傍聴者 2 名)
その他	